

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		げんき			公表日	7年 3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	活動に応じて机などの配置を変えて安全に活動できるように心がけています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		利用者の状況に応じて適切な職員配置を考えて配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		わかりやすく写真や絵・文字で表示しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		事業所内の清掃や備品・おもちゃなどの消毒は毎日行っています 利用時は換気と手洗いをこまめに行っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		いつでも使用できるようにしています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		全職員が周知徹底できるようミーティングで議題に取り上げています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		改善につなげられるように努めていますが充分にできていない所もあり、今後も改善につなげられるように努めます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ミーティングで意見交換を行い業務改善につなげています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在外部評価は行っていません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修は行っていますが研修テーマを多様化したい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		子どもの発達の捉えと保護者のニーズをアセスメントして支援計画に反映しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		今年度よりAIを導入し以前より詳細に分析し計画できるようになりました	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		AI導入により詳細な分析結果を職員がより深く理解でき個々に適切な支援につなげているようになりました	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		AI導入により計画に沿った支援が行われやすくなった	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者からの聞き取りや子どもの状態や経過を追ってアセスメントしています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		自立支援・日常生活の充実のために平日と休日で分けて基本活動などを組み合わせています 5領域の内容について職員全員が周知できるようにします	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員で相談しながら共有し立案しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎月のミーティングで改善点等見直しながら予定を立てています 今後も研修等を通して	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		計画に沿って個々の状況に応じて個別・集団活動の支援を行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援開始前に職員全員で確認を行っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		送迎後職員で振り返りを行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援記録を残し、支援の改善につなげられるよう確認や見直しを行っています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		日々の支援時の情報も合わせて年に2回以上モニタリングを行い支援の見直しを判断していきます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童の状況把握の出来ている職員が参画しています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係機関との連携は行っているが今後関係を深めていくことに努めます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者の同意のもと情報共有しています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		スマイルブックでの引継ぎや保護者からの聞き取り、児童発達支援事業所とは連携を取っていますが、今後は保育所や幼稚園、認定こども園の間でも情報共有と相互理解に努めます
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/	/	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	/	/	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	専門機関との情報交換を通じて助言をいただける様に努めます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	必要に応じて今後対応していきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎日の支援では連絡帳や送迎時に伝えることができますが必要に応じて個別に連絡をとるなど対応しています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		必要に応じて面談や電話などでデイと家庭でも同じような支援を行えるよう共通理解を行っている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明しています
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		随時送迎時、電話など対応しています
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		面談時やモニタリング時に説明を行い同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		療育後の時間や、送迎時に保護者の方に声をかけ面談や電話などで時間をもつようにしています

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	希望があれば開催出来つように検討していきます
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	苦情があった場合には速やかに適切な対応をするように心掛けています
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	LINEでの報告に偏りがちになるためHPやSNSの活用を今後増やしていきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	個人情報の関係書類は全て鍵付書庫で保管しています
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	曖昧な表現はせずわかりやすい言葉を使うなど視覚化し意志の伝達を図っている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	今後の状況を見て検討していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	マニュアルは職員間では周知されていますが、保護者にも書面にて具体的なお知らせができるよう準備していきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	年に数回しか行っていないため災害の種類をかえてもう少し頻繁にいけるようにしていきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	保護者からの情報で確認しています
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	アレルギーについては医師の診断書が前提の保護者からの情報を元に対応をしています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	防犯研修を行い職員で安全チェックを行っています
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	安全計画の内容を保護者にもしっかり周知してもらえる方法を工夫していきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	ヒヤリハット事例を職員全員で共有し再発防止に努めている
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	虐待防止のためチェックリストを作成し集計結果を報告し社内研修を行っています	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	身体拘束を必要とする児童がいません	